

平成15年度 札幌市青少年基本調査概要

【調査対象】市内小学校1年生～高校3年生 9700人

【調査方法】個別学校への配布・回収(小中学校各区1校、高校1校)

【調査期間】平成15年11月17日～12月15日

【回収数】8,264件(85.2%)

小学校 3,630人(82.3%)

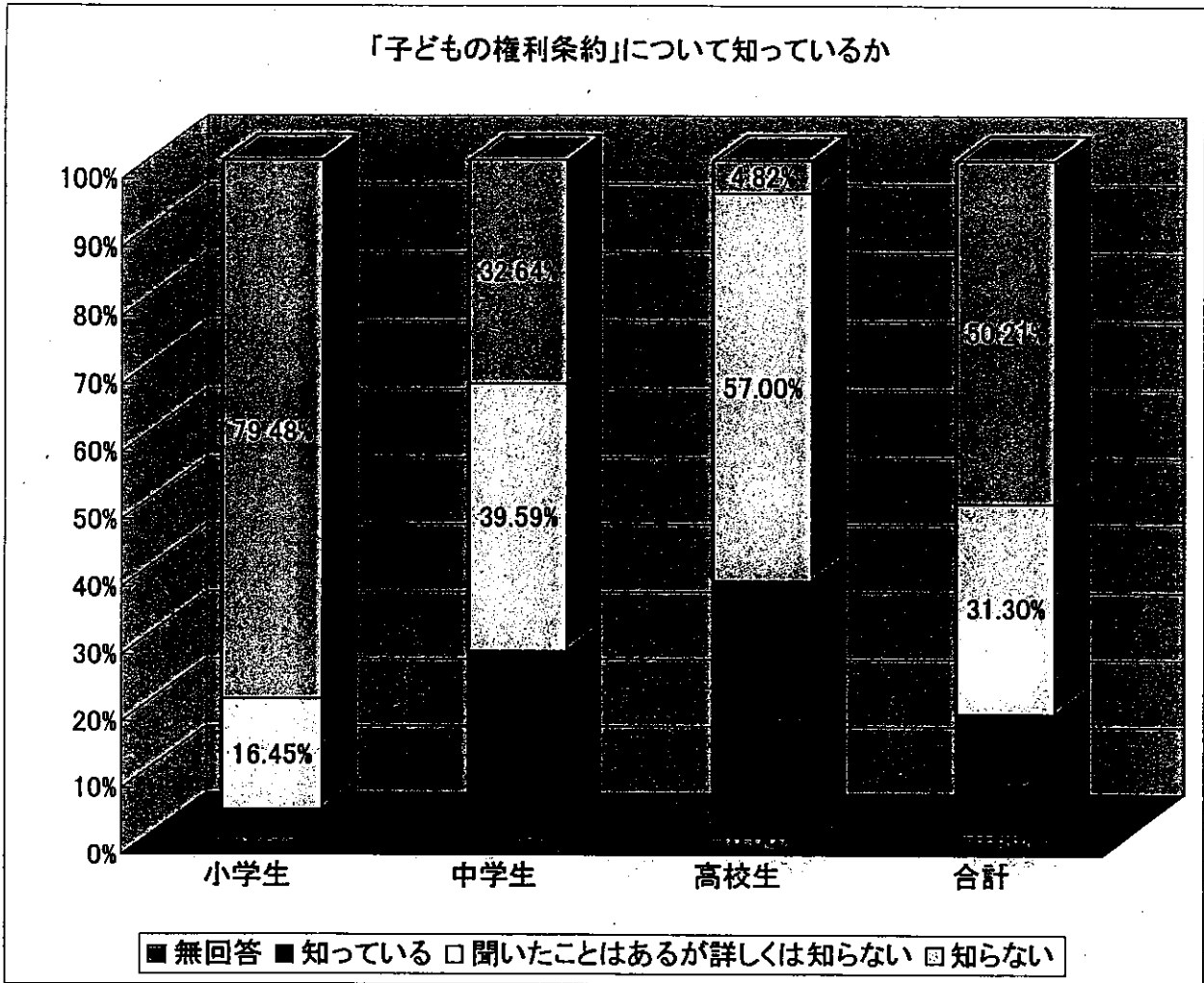
中学校 3,741人(87.2%)

高校 893人(89.3%)

【調査項目】

調査項目		別紙有
1	子どもの権利条約を知っているか	
1-1	条約の中で知っているのはどんなことか	
2	ふだんの生活の中で、どんなときが一番楽しいか	
4	日ごろの生活の中で、困っていることやいやなことがあるか	
4-1	悩んでいることはどんなことか(高校生のみ)	
4-2	悩みごとをまずだれに相談するか	
5	ふだん一番話をするのはだれか(小中のみ)	
5-1	ふだん一番話をする人はあなたの気持ちをよく分かってくれていると思うか(小中のみ)	
5-2	あなたが一番話をする人と、ふだんどのような話をするか。(小中のみ)	
6	今まで最も強く影響を受けたのは何(誰)か	
8	熱中したり夢中になれるのはどんなときか	
9	これまでに体験したこと	
10	最近1年間で、住んでいる地域で次の活動や行動をしたことがあるか	
11	ボランティア活動をしたことがあるか	
11-1	これからどんなボランティア活動をしてみたいか	
12	早く大人になりたいか(中・高校生)	
13	大人になるために必要な機会はどんなことか(中・高校生)	
14	ふだんお父さんと話をするか(高校生のみ)	
15	ふだんお母さんと話をするか(高校生のみ)	
16	お父さんお母さんと話をするとき、次のような態度をするときがあるか(高校生のみ)	
17	お父さんは、ふだんあなたの気持ちをよく分かっていると思うか(高校生のみ)	
18	お母さんは、ふだんあなたの気持ちをよく分かっていると思うか(高校生のみ)	

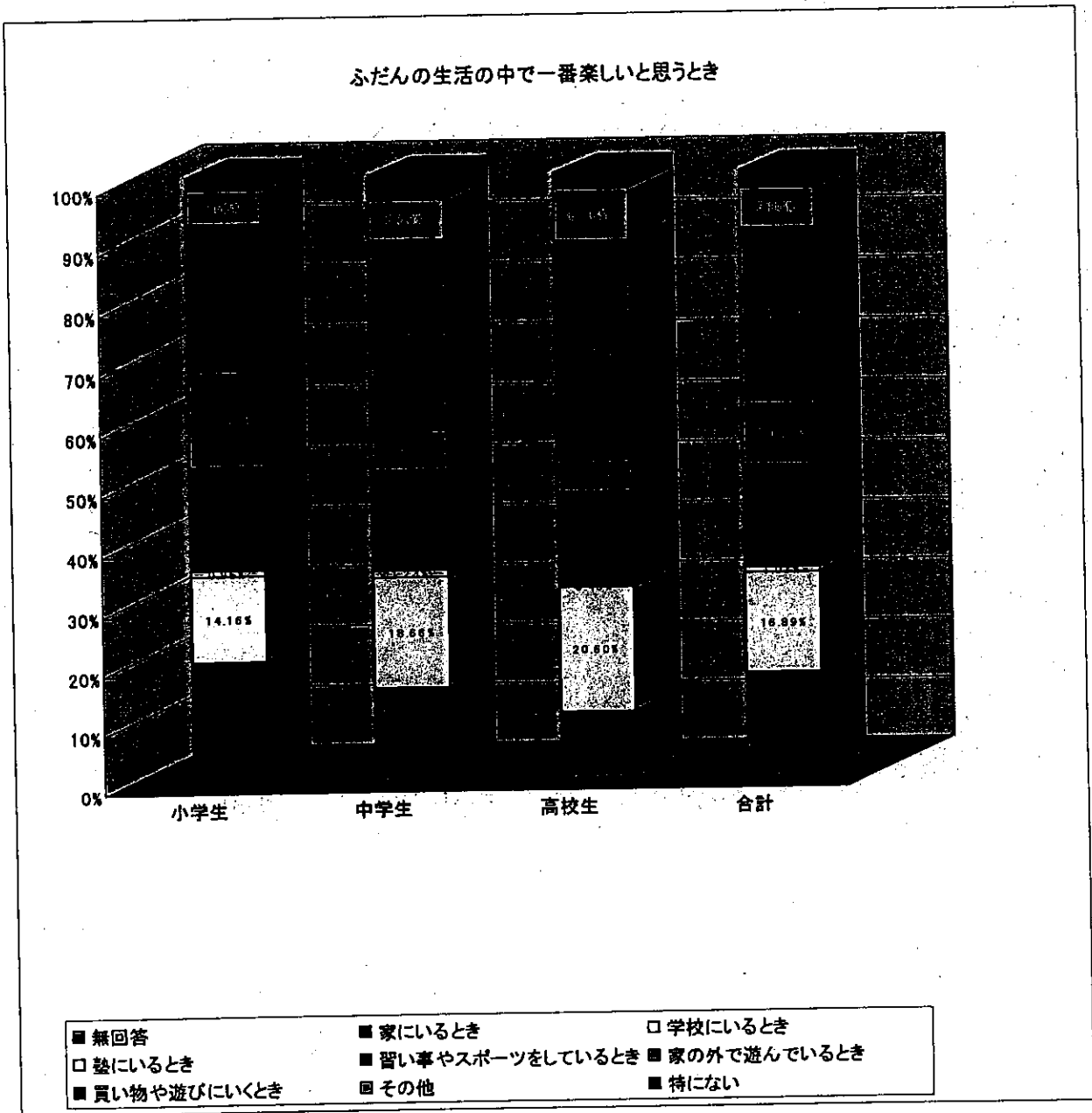
1 子どもの権利条約について



「子どもの権利条約」について知っているかどうかの設問には、全体では「知っている」が17.9%、「聞いたことがあるが詳しくは知らない」が31.3%、「知らない」が50.2%という結果となった。小・中・高校生別では、小学生が「知っている」が3.9%にすぎないのに対して、中学生では26.8%、高校生では38.2%と年齢が上がるにつれ、周知度が高くなる傾向が見られた。

しかし、小学生で16.5%、中学生で39.6%、高校生でも過半数（57%）の人が「聞いたことがあるが詳しくは知らない」と答えており、具体的な内容は知らないまま、漠然とただ何となく知っているという人が多い結果となった。

2 ふだんの生活の中で一番楽しいと思うとき

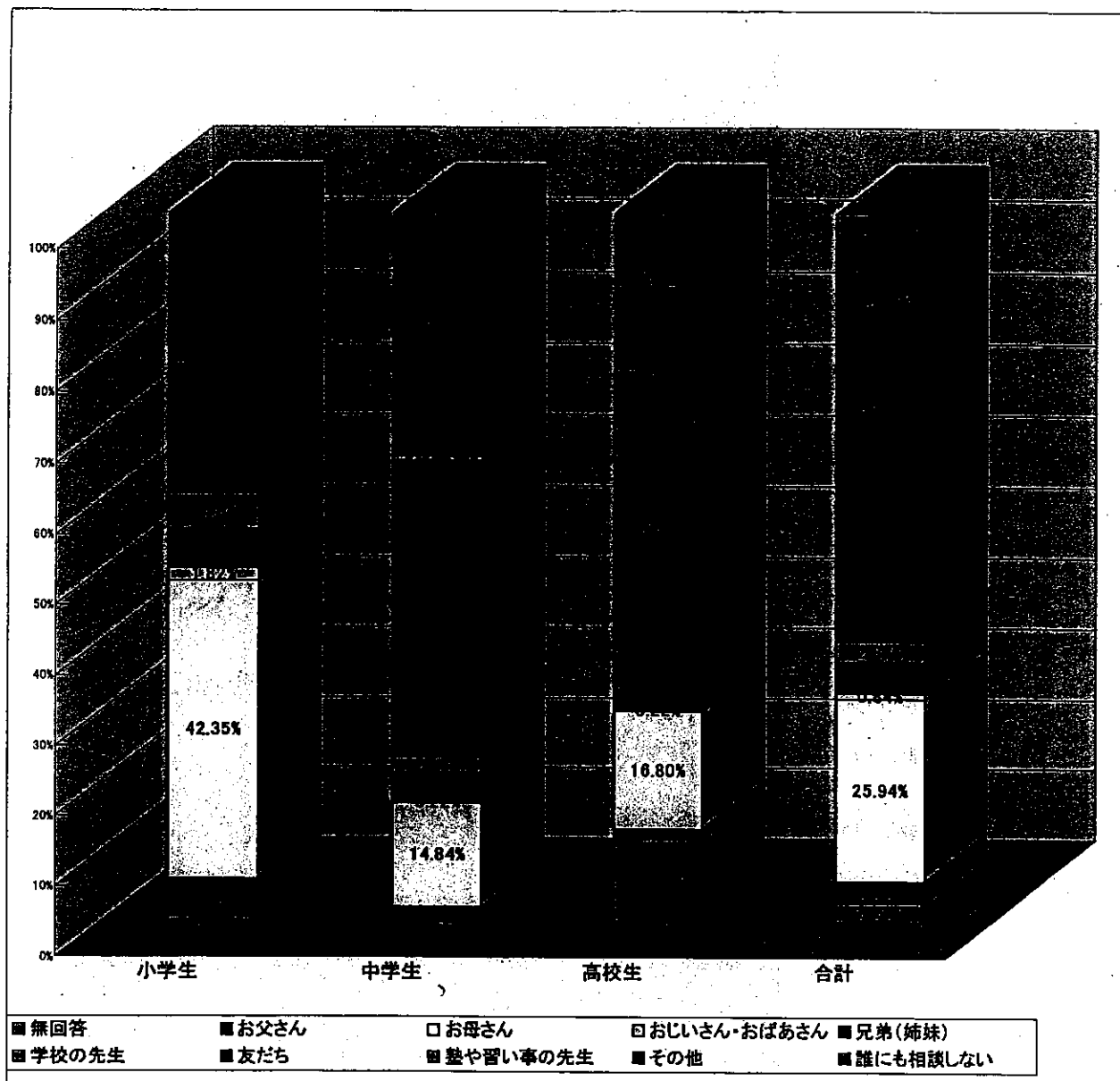


全体では、「買い物や遊びに行くとき」28.6%、「学校にいるとき」16.9%、「習い事やスポーツをしているとき」16.8%という順位となった。

小・中・高校生別で見ると、小学生【1位「買い物や遊びに行くとき」24.0%、2位「家にいるとき」19.7%、3位「習い事やスポーツをしているとき」17.3%】、中学生【1位「買い物や遊びに行くとき」31.2%、2位「学校にいるとき」18.7%、3位「習い事やスポーツをしているとき」16.6%】、高校生【1位「買い物や遊びに行くとき」36.2%、2位「学校にいるとき」20.6%、3位「習い事やスポーツをしているとき」15.5%】ともほぼ同じ傾向となった。

その他として、全体では「友達といるとき」という声が多かった。小・中・高校別では、小学校では「ゲーム」や「買い物」など多様な答えが見られたのに対し、中学生では「部活」「寝ているとき」、高校では「趣味の活動」を挙げる声が見られた。

3 悩み事をまず誰に相談するか

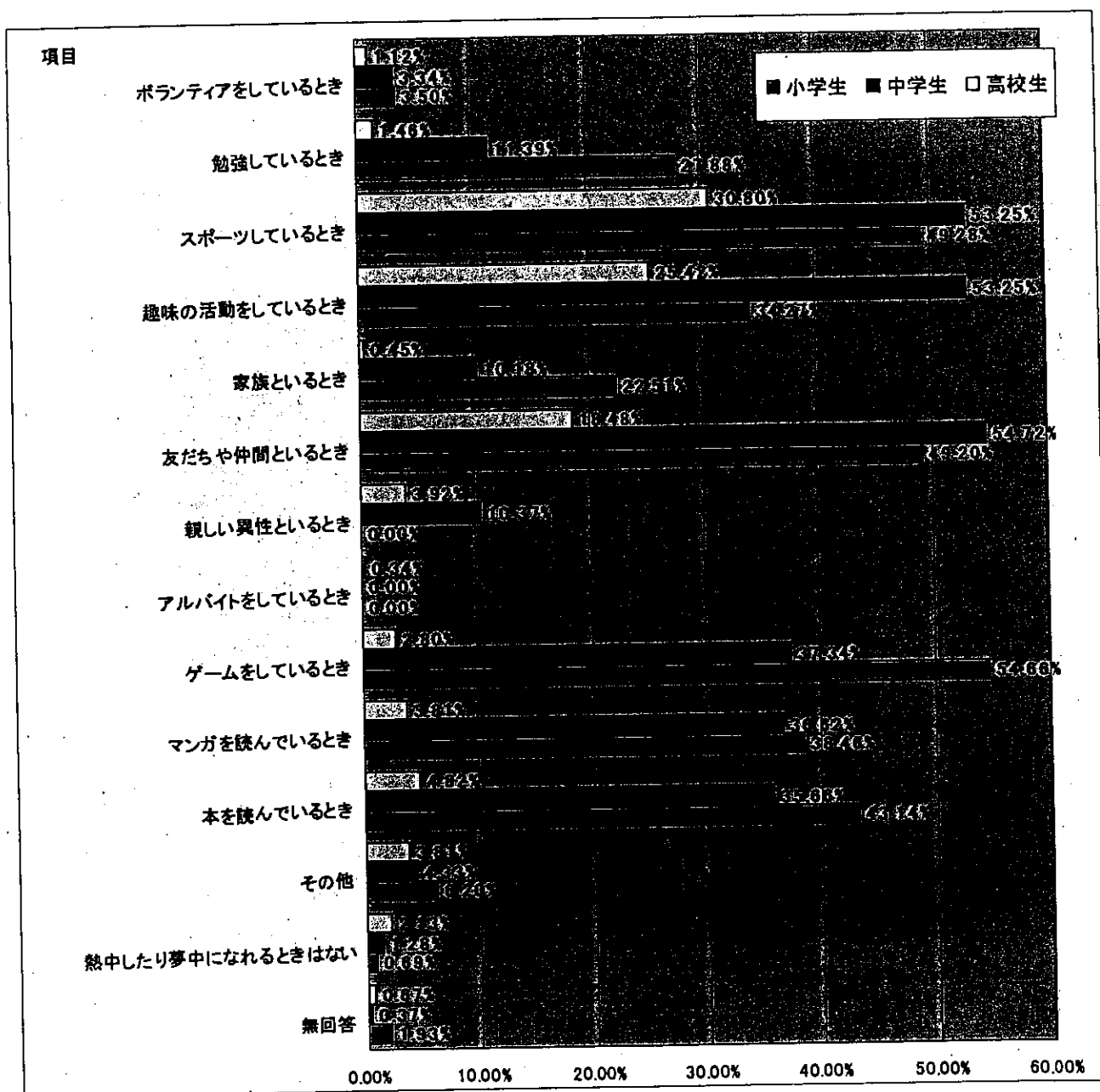


「悩み事をまず誰に相談するか」ということについて、全体では「友だち」33.5%、「お母さん」25.9%、「誰にも相談しない」23.6%の順に高い回答となった。

小・中・高校生別に見ると、小学生【1位「お母さん」42.4%、2位「友だち」18.5%、3位「誰にも相談しない」18.42%】では母親が1位であるが、中学生【1位「友だち」42.1%、2位「誰にも相談しない」31.1%、3位「お母さん」14.8%】、高校生【1位「友だち」44.9%、2位「誰にも相談しない」18.5%、3位「お母さん」16.8%】では、友だちが1位に逆転する結果となった。

また、その他では、小学生では親戚のおばさんやいとこなどの答えがあった。全般では「メル友」「ネットでの友だち」「内容によって違う」などの回答が多く見られた。

4 何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときか（複数回答）

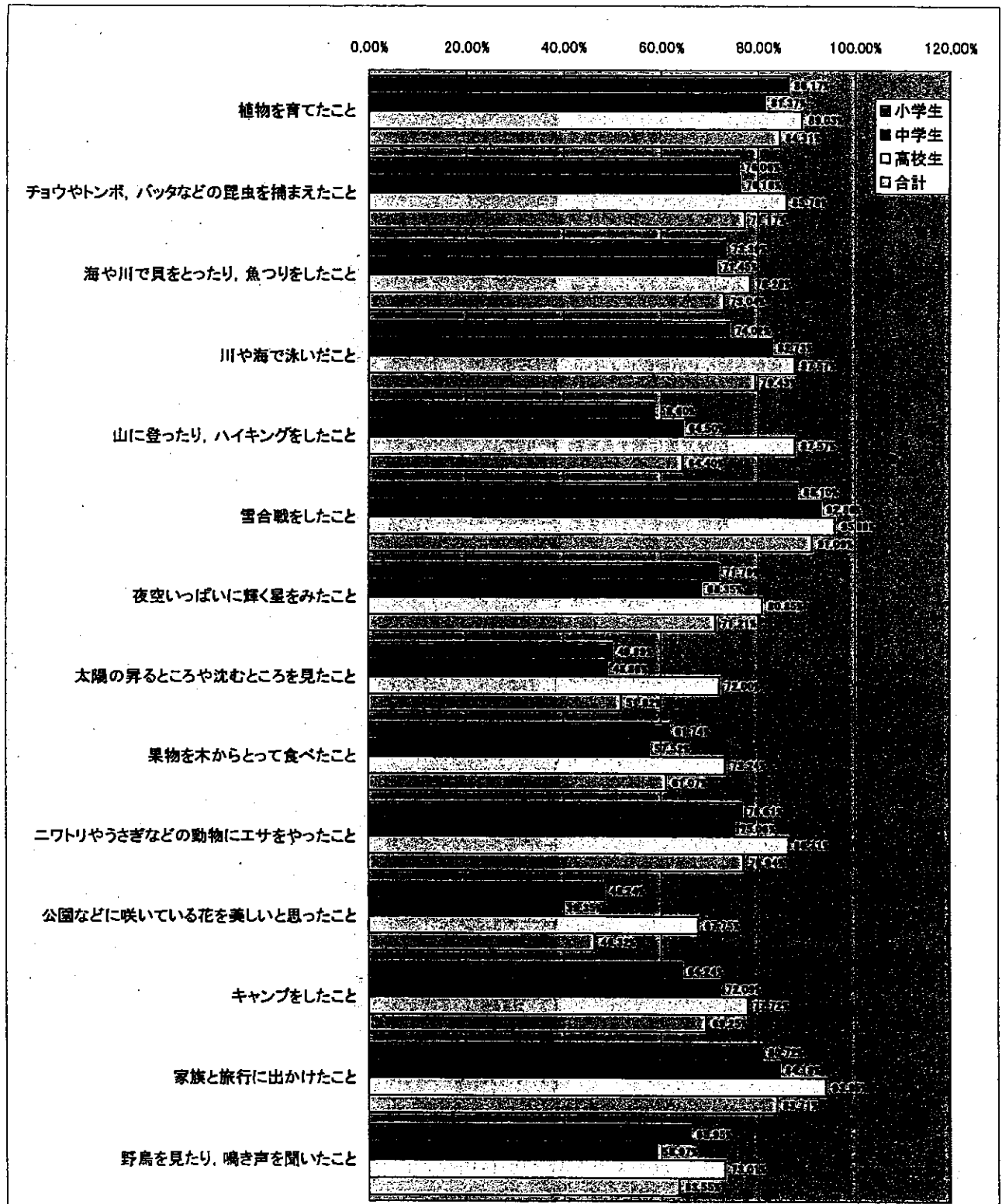


「何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときか」（複数回答）という問いについては、全体で見ると「スポーツしているとき」49.1%、「趣味の活動をしているとき」41.9%、「ゲームをしているとき」41.2%という結果となった。

小・中・高校生別では、小学生【1位「ゲームをしているとき」54.7%、2位「スポーツしているとき」49.3%、3位「友だちや仲間といるとき」49.2%】、中学生【1位「友だちや仲間といるとき」54.7%、2位「趣味の活動をしているとき」、「スポーツしているとき」（ともに53.3%）】、高校生【1位「スポーツしているとき」30.8%、2位「趣味の活動をしているとき」25.4%、3位「友だちや仲間といるとき」18.5%】となった。

その他の項目では、小学生では、「ペット」「カードゲーム」「将棋・オセロ」「折り紙」「友だちとおしゃべり」等さまざまな回答が見られた。しかし中・高校生になると「音楽」「パソコン」などの趣味や、「部活」との回答が多くなった。

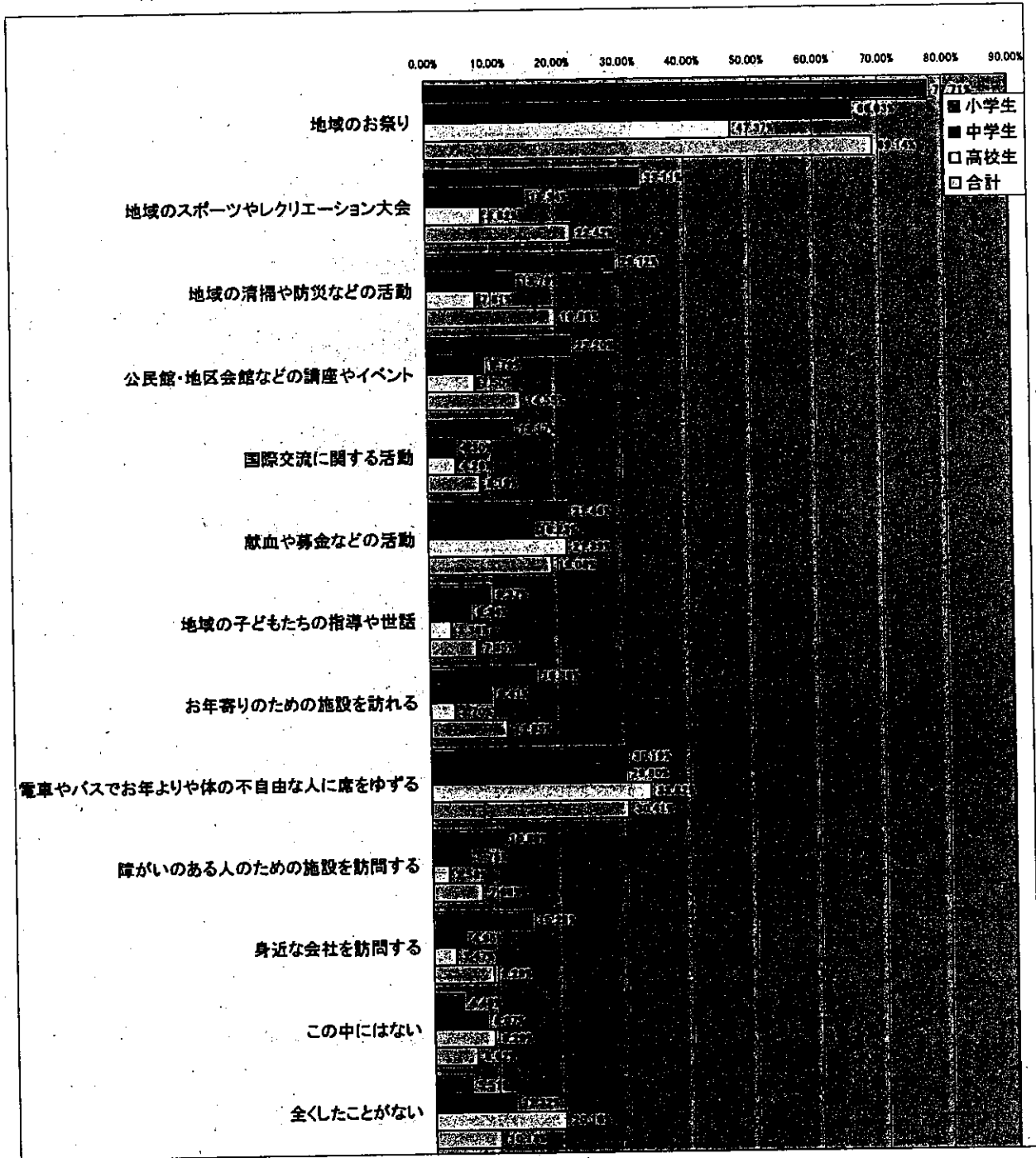
5 次のようなことをしたことがあるか（複数回答）



多様な体験の有無（複数回答）について確認したところ、全体では1位「雪合戦をしたこと」91.1%、2位「植物を育てたこと」84.3%、3位「家族と旅行に出かけたこと」83.7%の順になった。

小・中・高校別では、小学生【1位（雪合戦）88.1%、2位「植物を育てたこと」86.2%、3位「家族との旅行」80.7%】、中学生【1位（雪合戦）92.9%、2位「家族との旅行」84.2%、3位「川や海で泳いだこと」82.7%】、高校生【1位（雪合戦）95.9%、2位「家族との旅行」94.0%、3位「植物を育てたこと」89.0%】となった。

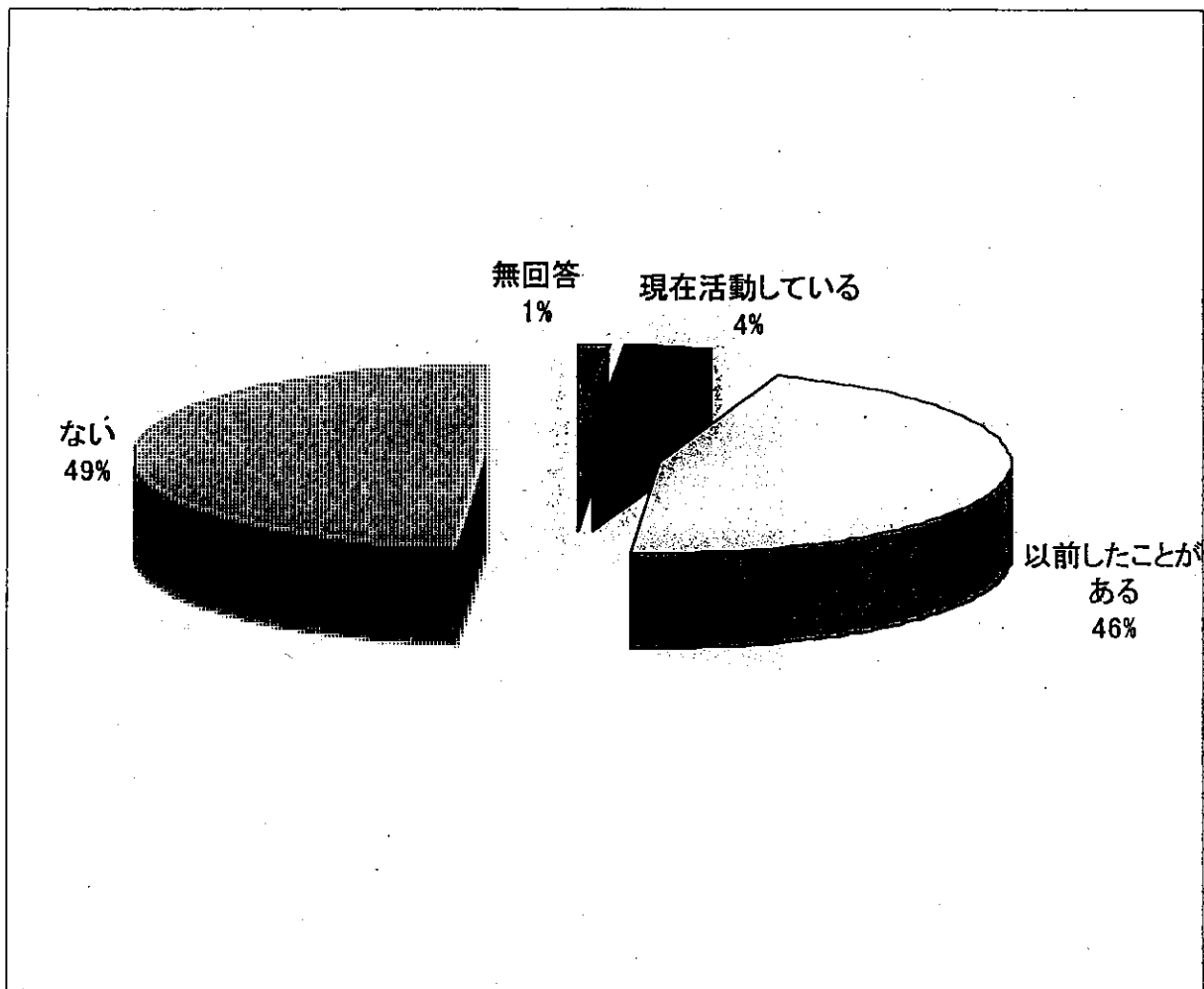
6 最近1年間、住んでいる地域で、次の活動に参加したり行動したりしたことがあるか（複数回答）



地域での社会体験の有無（複数回答）について確認したところ、全体では1位「地域のお祭り」69.1%、2位「電車やバスでお年よりや体の不自由な人に席をゆずる」30.4%、3位「地域のスポーツやレクリエーション大会」22.4%の順になった。

小・中・高校別では、小学生【1位「地域のお祭り」77.7%、2位「地域のスポーツやレクリエーション大会」33.1%、3位「電車やバスでお年よりや体の不自由な人に席をゆずる」30.2%】、中学生【1位「地域のお祭り」66.0%、2位「電車やバスでお年よりや体の不自由な人に席をゆずる」29.8%、3位「献血や募金などの活動」16.2%】、高校生【1位「地域のお祭り」47.4%、2位「電車やバスでお年よりや体の不自由な人に席をゆずる」33.8%、3位「献血や募金などの活動」21.4%】となった。

7 ボランティア活動をしたことがあるか

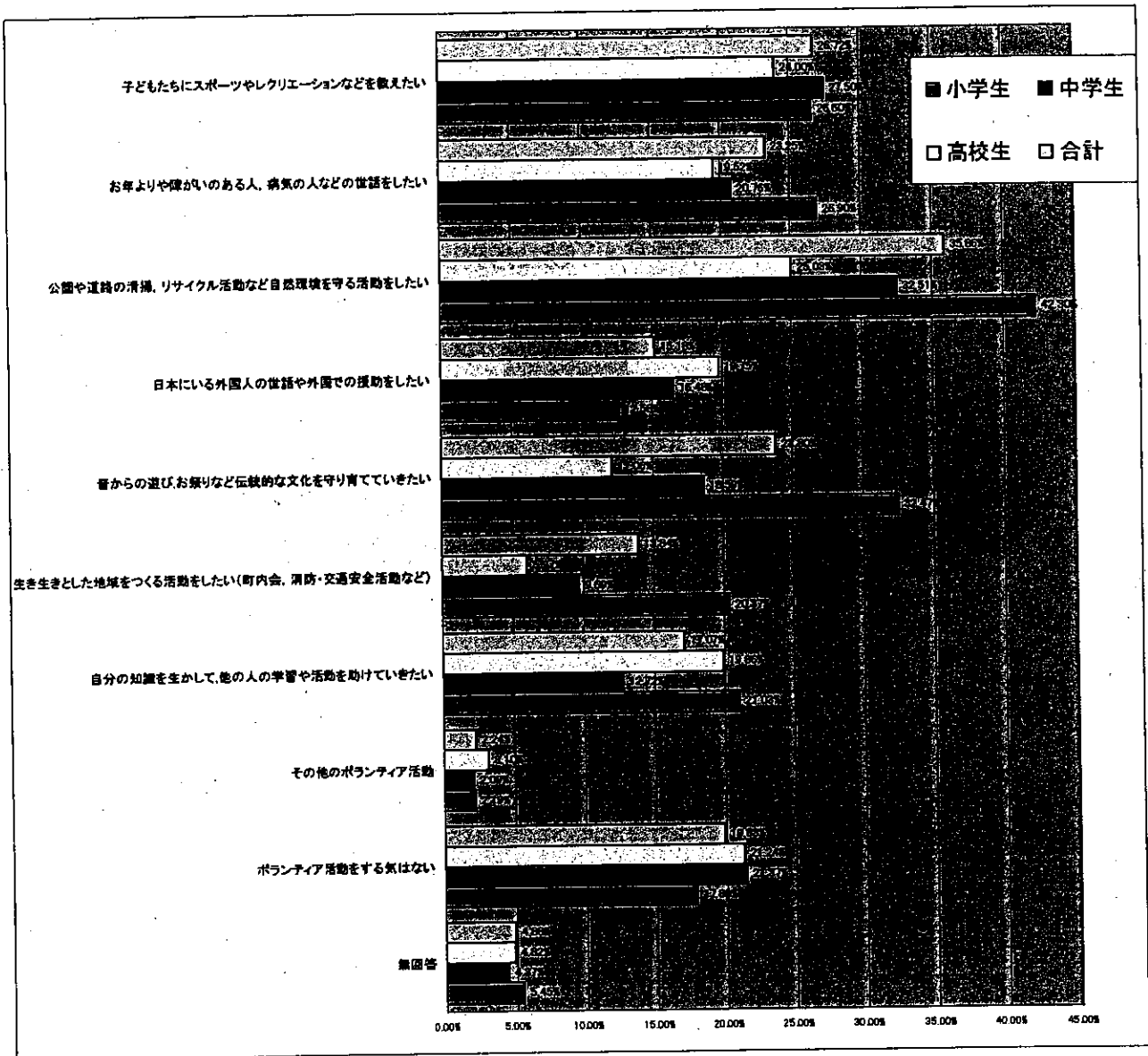


「ボランティア活動の有無」について聞いたところ、全体では「現在活動している」4.2%、「以前活動したことがある」45.8%、「活動したことがない」48.6%、「無回答」1.4%との結果になった。

小・中・高校別では、小学生【「現在活動している」5.9%、「以前活動したことがある」28.2%、「活動したことがない」63.8%】、中学生【「現在活動している」3.1%、「以前活動したことがある」63.7%、「活動したことがない」32.2%】、高校生【「現在活動している」1.7%、「以前活動したことがある」42.6%、「活動したことがない」55.0%】との順になり、年齢が高くなるにつれ、活動していない人が多くなる傾向が見られた。

また、平成8年10月実施のアンケート調査（小・中・高校生対象 約500名）でも同じ設問（青少年のボランティア体験について）をしているが、これと比較してみると（「現在活動している」3.4%、「以前したことがある」30.7%、「全くしたことがない」64.1%）、「現在活動している」人の割合が0.8ポイント高くなり、「活動したことがない」人の割合が15.5ポイント低いとの結果になった。

8 どんなボランティアをしてみたいか（複数回答）

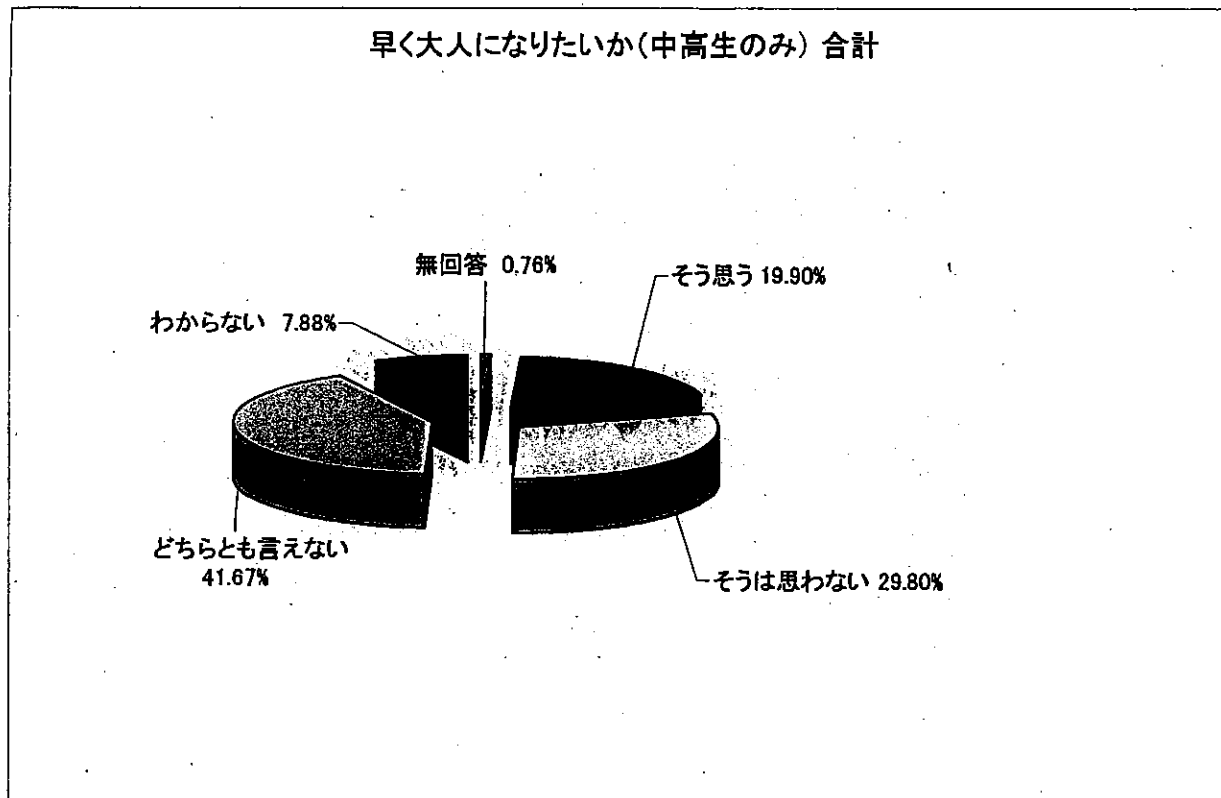


「どんなボランティアをしてみたいか」について、全体では1位「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」35.9%、2位「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教える」26.7%、3位「昔からの遊び、お祭りなど伝統的な文化を守り育てる」23.8%の順となった。

小・中・高校別では、小学生【1位「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」42.3%、2位「昔からの遊び、お祭りなど伝統的な文化を守り育てる」32.5%、3位「お年よりや障害のある人、病気の人などの世話」26.9%】、中学生【1位「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」32.5%、2位「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教える」27.5%、3位「ボランティアする気はない」21.4%】、高校生【1位「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」25.0%、2位「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教える」24.0%、3位「ボランティアする気はない」21.2%】との結果になり、全体的に小学生は意欲的で回答も高率だが、年齢が上がるに従って割合が低下し、ボランティアへの意欲が低くなる傾向となった。

その他の回答としては、「ごみ拾い」「募金」「発展途上国への援助」「手話」「植樹、植林」「動物の世話」「雪かき」などの項目が挙げられた。ユニークなところでは「雪像づくり」や「盲導犬の世話」などもあった。

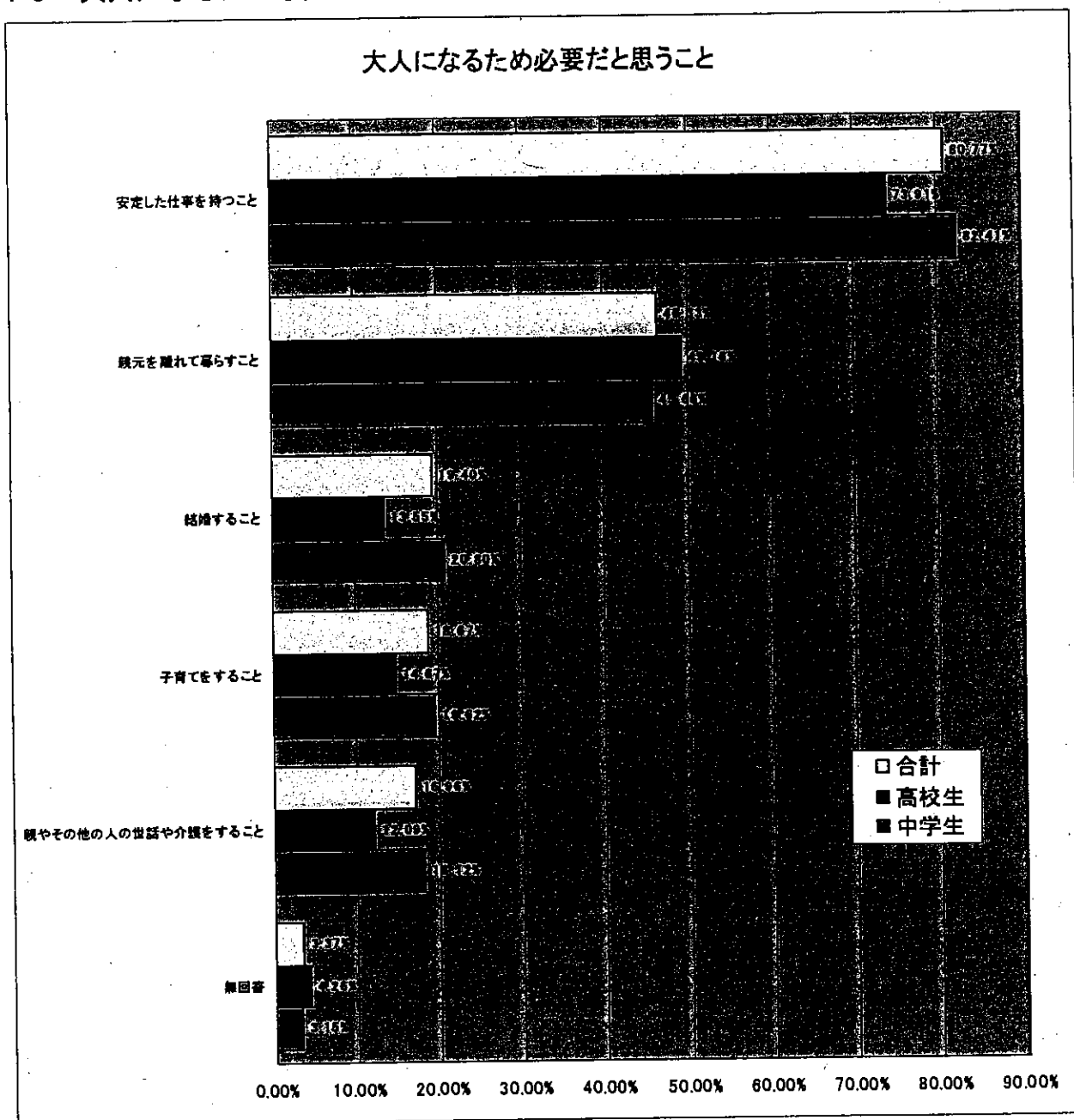
9 早く大人になりたいか（中高校生のみ）



「早く大人になりたいか」（中高校生のみ）の設問に対しては、「そうは思わない」29.8%、
で「そう思う」と回答した人19.9%を上回った。（「どちらとも言えない」41.7%、「わからない」7.9%）

中・高校生別に見ると、中学生【「そう思う」19.9%、「そう思わない」29.4%「どちらとも言えない」
41.5%】、高校生【「そう思う」19.9%、「そう思わない」31.4%「どちらとも言えない」42.2%】とど
ちらも全体と同様の傾向となった。

10 大人になるため必要だと思うこと（複数回答）



「大人になるために必要だと思うこと」（複数回答）について、全体では1位「安定した仕事を持つこと」80.8%、2位「親元を離れて暮らすこと」46.3%、3位「結婚すること」19.4%の順となった。

中・高校別では、中学生では1位「安定した仕事を持つこと」82.4%、2位「親元を離れて暮らすこと」45.7%、3位「結婚すること」20.8%の順であるのに対して、高校生は1位「安定した仕事を持つこと」73.9%、2位「親元を離れて暮らすこと」49.2%、3位「子育てをすること」13.6%と3位の項目に違いがあった。